2025 年 9 月 24 日

「こどもを守るネットワーク」事業

こどもネットニュース

VOL. 195

武蔵野市特別インタビュー

佐藤主事（防災安全部・安全対策課）

柳生隊長・藤本隊員（安全パトロール隊ホワイトイーグル）

武蔵野市では、平成 13 年に大阪府池田市で起こった小学生無差別殺傷事件をきっかけに平成 14 年 10 月に武蔵野市生活安全条例が施行され、同年 11 月に青色回転灯を装着した車両による巡回パトロールを行う安全パトロール隊のホワイトイーグルが結成されました。今回はホワイトイーグルの活動についてインタビューを行いました！

■武蔵野市様で行っているホワイトイーグルとはどのような取り組みでしょうか。

佐藤主事：活動は年末年始や祝祭日を除いた月曜日から土曜日の午前７時から午後７時までで、市内を３地区に分けて計６名３台のパトロール車で 128 か所を巡回しています。そのほかにも要望があった保育園などでセーフティ教室を昨年 26 回開催し、延べ 1,346 人の参加がありました。

■これまでパトロールしていて、実際に助けを求められたことはありますか？

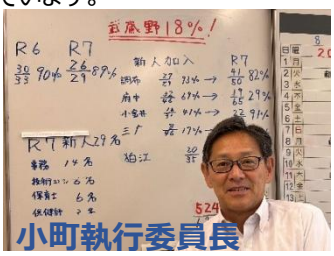
柳生隊長：保育園の先生と子どもたちが散歩中に、自転車に乗った男に付きまとわれ、たまたま通りかかった際に助けを求められました。逮捕などの権限はもちろんありませんが、自分自身の身を守りながら声をかけ、対応をしました。

■巡回をする中で意識していることはありますか。

柳生隊長：安全運転を心がけながら、助けを求めている人や不審者を見逃さないようにしています。

藤本隊員：助けを求めてくる方に落ち着いてもらえるように、冷静かつ落ち着いた対応を心がけています。

武蔵野市職員労働組合特別インタビュー



武蔵野市職員労働組合はこどもネットの活動に協賛していただいています。

今回は武蔵野市職員労働組合の小町執行委員長へインタビューしました。

■今後、こどもネットの取り組みに期待することを教えてください。

こどもネットの活動には可能性がたくさんあると感じています。もっと多くの人に認知してもらうためにも主体性のあるイベントの企画や親子で参加できるスポーツ大会の運営などがあったら面白いと思っています。グッズも防犯ブザーにこどもネットのロゴを入れて、市町村と連携し、新一年生に配布などすれば子どもも親もこどもネットについて知るきっかけが増えていくのではないでしょうか。

武蔵野市様・武蔵野市職員労働組合様ご対応ありがとうございました！

「こどもを守るネットワーク」事務局
〒190−0012 立川市曙町２−15−20−５F 連合三多摩ブロック地協内
TEL 042−529−5550 FAX 042−529−5552